



卒業を控えた9年生へ。自分に挑戦、オリンピックから学ぶ。

2月24日・25日が公立入試でした。皆さんにとって自分史上最大のチャレンジに一つの区切りがつくこととなります。ここまでお疲れ様でした。よく頑張りました。卒業を前にした9年生に、伝えたいことがあります。それは、「自分に挑戦した経験を大事にしてほしい」ということです。そのヒントにつながる話「オリンピックの心・それを支える人たちの心」についてお話しします。

今回の北京オリンピック、日本のメダリストたちの言動が素晴らしいと感じました。スピードスケート女子団体追い抜きの選手は、悔しさを転倒した選手にぶつけないで自らに向けて消化しようと頑張っていました。スノーボード男子ハーフパイプ金メダリストは、2本目の採点（予想外の低評価）を受けて3回目に文句ないパフォーマンスで頂点に立ちました。スキージャンプ混合団体では、スーツ規定違反で失格処分だった選手をみんなが全力でかばってました。この他にも「名場面」が沢山ありました。夏のオリンピックにも感動しましたが、冬のオリンピックでは質の違う感動が生まれたと感じています。何度も涙が出ました。年齢を重ねてきたからかもしれません。

今回のメダリストの言動に触れ、ふと4年前の小平奈緒選手の振る舞いを思い出しました。当時、金メダルを逃した失意のライバルを心から励まし讃えた姿は、まさにオリンピック精神そのもの。ライバルと結んだ絆は、「人は違い（国家・民族・人種）を乗り越え、分かり合える。」という証でした。（残念ながら、現在の国際情勢は全く逆方向に進んでいる面も見受けられます）

代表として選手生命をかけて戦ったのに、期待された結果が出ないとき、一番悔しいのは本人です。それなのに、代表選手だからといってバッシングする風潮や文化は、人間誰もがもっている悪い面が曝け出されているのだと思います。SNSは、名前を公開せずに勝手に批判・非難して人を傷つける「悪い力」をもっていますが、一方で、失敗しても結果を責めず、プロセスを讃えて励ます人間誰もがもっている良い面を表すこともできます。プレーヤーズファーストであるべきです。

オリンピックを通して、オリンピックのおかげで多くの人々がチャレンジ・プロセスを讃えられる人に成長してきたと感じています。これが質の違う感動につながっているのだと思います。



9年生最後の定期テストの様子

9年生は、「受験」という自分史上最大の山場を越えました。目標を達成した人・残念だった人と結果は分かれます。悔しい気持ちが残る人もいるでしょう。しかし、結果にかかわらず、これからの未来は自分自身の考え方次第で必ず好転します。

オリンピックの姿のように、挑戦することが素晴らしいのです。自分を信じて「自分への挑戦」を続けていってください。

【重要】コロナ禍の学校 ～感染症を防ぎながら、教育活動を前に進めます～

- 学級懇談会（オンラインで実施）については、別紙を参照してください。
- 卒業式は、1～8年生は臨時休業となります。（市内公立学校で共通の対応となります。）なお、6年生の前期課程修了証書は、修了式に渡します。昨年度同様、式典は行いません。
- 6年生は、前期課程の区切りとして「前期課程 感謝の会」を地域の方々を対象に行う予定です。

塩浜学園ナウ 学校の教育活動の様子などをお知らせします

■ 9年生卒業制作 完成しました。

前号でお伝えした「校歌の歌詞板」（卒業制作）が完了しました。この活動の始まりは、生徒総会の9年3組からの提案でした。この提案を受けて、学年で作成を決め、PTAより材料費を出していただき、美術の時間を使って「卒業制作」に取り組みました。受験シーズンとなり、9年生がニス塗りできなかったために次のようにしました。

下塗り：用務員さん、用務員リーダーさん

2回目：6年生で分担して全面（当日出席していた児童）

3回目：7年生が一人一文字ずつ分担してタイトル～一番

8年生が一人一文字ずつ分担して二番（同上）

仕上げ：用務員さん、用務員リーダーさん

結果として、児童生徒からの提案が実をむすび、6年生以上が直接関わることになりました。ニス塗りをした生徒の中には「この文字、9年生が彫ったんだよねー。上手に彫れてるねー。」とつぶやきながら作業している生徒もいました。義務教育学校ならではの幅広い学年が協働しての卒業制作、素晴らしい取り組みになりました。本日、体育館に掲げます。

■ 昨日の風景（図工の時間3年 ， オンライン授業5年・6年）



塩浜学園の先生方と若者たちへのメッセージ 第11弾

「スペシャル・トーク」の第11弾は、本校の元職員・現職員からの寄稿です。9年生への思い、塩浜学園への思いを寄せていただきました。





学校運営協議会だより

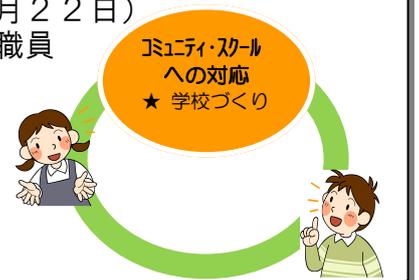
市川市立塩浜学園
学校運営協議会
第 5 号
令和4年3月1日

～ 学校評価・次年度の学校運営基本方針を協議しました ～

第5回は、「学校評価」と「令和4年度学校運営方針」についての協議でした。まん延防止重点措置の延長を受けて、市川市教育委員会が示す「教育活動の制限」の考え方に基づき、対面ではなく「書面開催」としました。意見は2月22日（火）締め切りとして集約しました。

第5回学校運営協議会概要（書面開催）

- 《日時》 令和4年2月10日（金）～ 資料送付（回収は、2月22日）
- 《構成》 学識経験者・地域関係者代表・保護者代表・校長・教職員
（計15名・・・HP参照）
- 《次第》 協議・報告及び意見交換
 - ① 学校の教育活動（12月～1月）
 - ② 学校評価・学校関係者評価
 - ③ 令和4年度学校運営基本方針について
 - ④ 来年度の学校運営協議会について 他



①学校の教育活動について（報告）・・・学校だより12月・1月号にて報告しました。

・12月に協議していただいた「教職員の任用」についての要望書を1月上旬に提出しました。

②学校評価について（5段階評価・書面への意見記入）

・学校だより（12月号・1月号）に加えて、学校評価（保護者アンケートの結果）の分析と記述への対応を提示しました。（一部、学校だよりに記載済み）各委員の皆様には、お送りした資料と、これまで参観していただいた児童の様子や学校の教育活動の様子を総合的に判断していただき、「学校関係者評価」をしていただきました。

・提出は13名、提出率は100%でした。いただいた意見は、教職員で共有いたします。

達成状況・・・11名提出 5 十分達成できた ← 3 → 全く達成できなかった 1

確かな学力 豊かな心 健やかな体 信頼される学校

平均(昨年度比) 4.2(+0.1) 4.5(+0.5) 4.4(+0.6) 4.7(+0.3)

（ ）内は、5段階評価の数値、その隣がコメントです。（一部抜粋）

全項目共通

（4）全ての項目に生徒の評価を基に回答しました。

（5）それぞれの評価結果を見ると、このように(5)評価してよいと思われます。（以下同様）

確かな学力

（5）はまっこギャラリーは、他の人に自分の作品を知ってもらうのにはとても良い。

（5）教科担任制は、他校にない一貫校の特徴であり、更に推進してください。

（4）学力に関しては結果がでるまでに時間がかかると思います。熱心な対策が実を結ぶことを願っています。

豊かな心

- (5) 縦割り活動，地域との交流により，豊かな心が育まれている。
- (4) 縦割りグループ活動が来年度は多くできるとよい。塩浜学園でしかできないことなので。
- (3) コロナ禍で人との関わりが少ないので優しく関わることができなくなっているのでしょう。
- (4) お子さんたちから「おはよう」の声が月ごとに増えて嬉しく思います。豊かな心はこのようにして育まれていくのですね。
- (5) 他の学校と比べると素直な子が多いように思う。コメントにあるように，6年生がよいかわからないが，中間の学年がリーダーシップも学べるとよい。

健やかな体

- (4) コロナ対応で大変なことが多い中，学級閉鎖は少ない。学校も子どもたちも気を付けているからなのではないかと思う。
- (5) 生活習慣は，家庭と学校の連携が必要です。意識向上を目指してください。
- (5) コロナ対策をしっかりとやってくださり，安心できる環境だと思います。

信頼される学校

- (5) 学校・保護者・地域が連携し，信頼しあうことで，より子どもたちを育ていけるのではないかと感じます。
- (5) 保護者評価が高いのは良いこと。今後も信頼される学校運営～未来へつないでください。
- (5) 今年度は，学校だよりの読むのがものすごく楽しかったです。
- (5) 保護者の皆様の評価が極めて高く，素晴らしいと思います。
- (5) 先生たちが地域と密着し，見回りしたり，動きが見えているから非常に良いと思う。

学校への意見（一部抜粋 いただいた意見の全ては「はまっこボイス」に記載します）

- ・細かく丁寧な分析がなされていると思います。大変お疲れ様です。
- ・今年度を検証したうえで，PDCA でより一層すばらしい学校を作ってください
- ・年度当初の学校運営協議会で確認した次の質問を学校評価に加えてほしい。
「学校での話を家庭で進んでしているか」
- ・少人数ならではの一人一人を支援する穏やかな学校運営ができています。
校外学習での地域の人との交流，継続してください。
- ・コロナ対応をしながらの学校運営を行っていただき，先生方には大変感謝しております。明るく元気な塩浜っ子を育てていただくよう期待しております。
- ・ひらき・つなぎ・つむぐ教育の実践を広げていこうという校長先生はじめ，先生方の情熱を感じております。塩浜学園ならではの「よき学園生活」を応援させていただきます。



③令和4年度 学校経営の基本方針について（承認13名＝全員）

《提案の概要》（抜粋）

スムーズに次年度につなげることをねらいとしている。「ひらき・つなぎ・つむぐ」を合言葉に小中一貫教育を推進していきたい。これまでの学校経営方針を継続しつつ，留意点を追記する形にしていきたい。→ 提案通りご承認いただきました。

★来年度も年間5回の開催を予定しています。詳細は4月にお知らせします。